

リサーチ・クラークシップ体験談

リサーチ・クラークシップとは：医学科 2 年生の授業科目の一種で、本学の研究室または、国内外の研究施設に約 2 か月間在籍し、高度な実験科学の進め方を実際に体験します。この実習に伴う交通費や実習費は法人が負担し、宿泊費の一部は「未来への飛躍基金」から助成されています。

医学科 3 年 小林 かれん

派遣先：Augusta University, Medical College of Georgia, Vascular Biology Center

私は 2 か月間、アメリカ ジョージア州にあるオーガスタ大学 Vascular Biology Center で研修しました。取り組んだ研究内容は運動時の二型糖尿病マウス骨格筋における代謝と血管新生タンパクの発現についてです。最初は結果を出すことで精一杯でしたが、担当教員や教授と話し合いを重ね徐々にストーリーを作っていく、今回の研究を一つの形にすることができました。短くも長くもあった今回の派遣で、研究の世界に触れる事が出来たばかりでなく、海外で生活するという貴重な経験をさせて頂きました。このプログラムに携わって下さった全ての方、「未来への飛躍基金」に御協力頂いた方々に感謝を申し上げますと共にこれからもこの恩を忘れずに勉学に励んでいきたいです。(写真は毎年 2 月の第 1 金曜日に実施される女性の循環器疾患予防キャンペーンに参加した際の写真で、参加者は赤い服や赤い物を身につけて活動します。)



医学科 3 年 佐々木 里歌

派遣先：理化学研究所脳神経科学研究センター 精神生物学研究チーム (内匠透研究室)

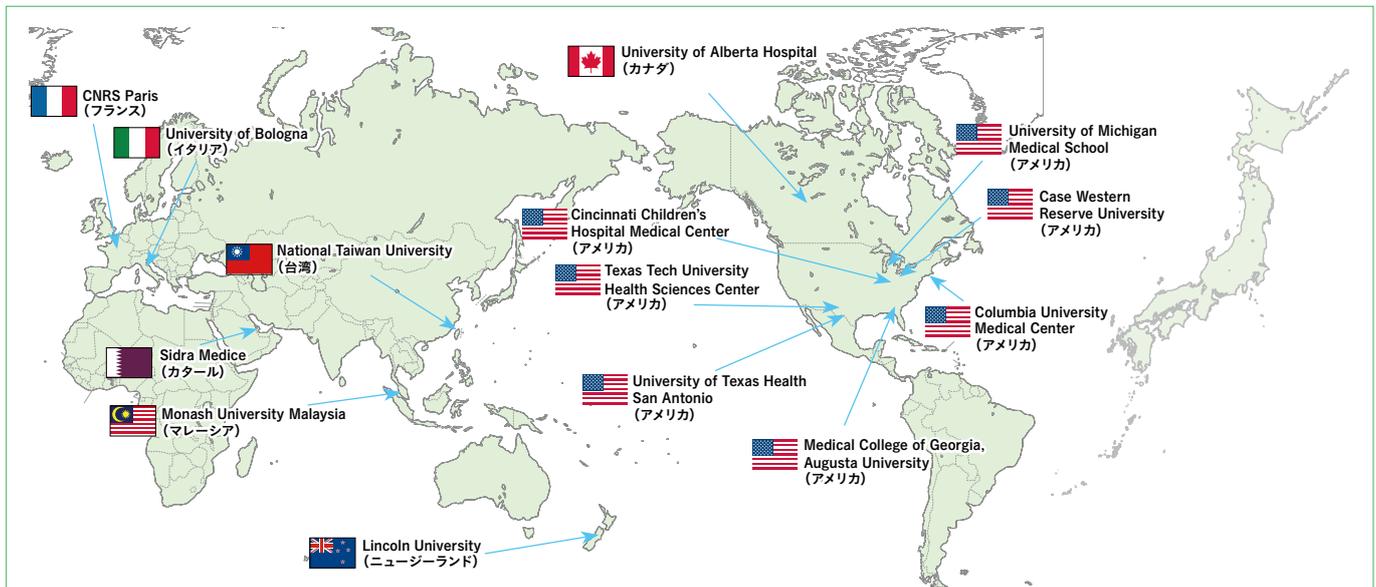
世界で 3 億人を上回る人が罹患するうつ病は、現代社会において深刻な疾患ですが、うつ病発症の明確な原因は解明されていません。そこで私は、うつ病発症のメカニズムを詳しく調べたいと考え、理化学研究所脳神経科学研究センターで研究実習を行いました。研究室では、うつ病耐性マウスの行動実験及び時計機構と気分障害をリンクする分子機構の解析を行いました。実験は、原理や操作過程の意味を理解したうえで、先生方の指導を受けながら取り組み、改善点についてはディスカッションを重ねました。慣れてきた頃には、主体的に実験計画を立てることができました。今回の実習は、研究者への第一歩を踏み出すことができた貴重な経験でした。援助していただいた大学及び「未来への飛躍基金」を助成していただいた方々に、心からお礼申し上げます。



医学科 3 年 西井 貴恒

実習先：本学 第二解剖学講座

1 年で最も寒い時期ではありましたが、お世話になった第二解剖の各教室にはストーブがあり寒さを苦にせず研究に没頭できました。脳の立体的な構造を学ぶことと顕微鏡で細胞を観察することを楽しみにしていたところ、実際に目にした脳全体や各種細胞の形態は想像以上に複雑で好奇心をかき立てられました。開始当初は、手技などの拙劣さから空回りを重ねるのではないかと内心恐れていましたが、先生方の丁寧な指導と手厚い補助をいただいたお陰で 2 か月という期間に比して十分な成果を得られ、更なる展望に繋がる発見もできました。今後も第二解剖に通うつもりですが、これからどんな実験結果に出会うこととなるか楽しみです。よい機会をいただいたことに、この場で感謝の辞を述べさせていただきます。



海外

海外 16 名の 2 年次学生派遣 (2018 年度実績)

- アメリカ [Michigan] University of Michigan Medical School
- マレーシア [Monash] Monash University Malaysia
- カナダ [Alberta] University of Alberta Hospital
- 台湾 [Taiwan] National Taiwan University
- アメリカ [New York] Columbia University Medical Center
- アメリカ [Texas] Texas Tech University Health Sciences Center
- フランス [Gif-sur-Yvette] CNRS Paris
- カタール [Doha] Sidra Medicine
- アメリカ [Augusta] Medical College of Georgia, Augusta University
- ニュージーランド [Canterbury] Lincoln University
- アメリカ [Cincinnati] Cincinnati Children's Hospital Medical Center
- アメリカ [Texas] University of Texas Health San Antonio
- イタリア [Bologna] University of Bologna
- アメリカ [Cleveland] Case Western Reserve University

国内

国内 23 名の 2 年次学生派遣 (2018 年度実績)

- 岩手医科大学 薬学部
- 理化学研究所 脳神経科学研究センター
- 国際医療福祉大学 医学部
- 早稲田大学 先進理工学部
- 慶應義塾大学 医学部
- NTTコミュニケーション科学基礎研究所
- 金沢大学 医薬保健学総合研究科
- 同志社女子大学 薬学部
- 京都大学大学院医学研究科・医学部
- 足立病院 生殖内分泌医療センター
- 国立循環器病研究センター 人工臓器部、分子生理部
- 川崎医科大学 医学部
- 東京医科歯科大学 医学部
- 自治医科大学附属さいたま医療センター